

赤十字血液センターだより

さちしあ

SACHISHIO

「血液事業をとおして、みなさまの幸せに貢献する」との願いを込め、幸せの「幸(さち)」と「血潮(ちしあ)」を組み合わせ、名付けられました



石川県赤十字血液センター
ホームページ

石川ミリオンスタースが 献血PRに参戦!



「献血サポーター」でもある石川県の人気プロ野球チーム「石川ミリオンスタース」は、平成23年から幅広い年齢層に向けて献血広報活動にご協力いただいております。今年で9年目を迎えています。

今年も選手の皆さんが、若年層向けの献血啓発ポスターへのご協力や、5～9月のシーズン中に月1回、街頭で献血広報活動をしてくださいます。

5月25日(土)には、野口陽稔投手、長谷川潤投手のお二人が、献血ルーム・キューブ近辺の街頭で、道行く方々に軽やかなフットワークと最高の笑顔で献血ルームのPRをしてくださいました。

●献血ルーム ル・キューブ 金沢市袋町1-1 かなざわはこまち3階 TEL (076)220-1655

【受付時間】10:00～12:30/13:50～18:00 【定休日】月曜日(祝日の場合は開設)

●献血ルーム くらつき 金沢市鞍月東1-1 石川県庁前 TEL (076)237-3745

【受付時間】月～金 9:00～11:40/13:00～16:45 【定休日】日曜・祝日
土 8:30～11:40/13:00～16:15

●献血バス 県内各地の市役所・町役場・公共施設・ショッピングセンターなど

【受付時間】各市町広報や献血会場ポスター、石川県赤十字血液センター HP等でご確認ください



2019.7
Vol. 138



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

石川県赤十字血液センター



献血バス 篇

金沢工業大学での献血に密着

能登から加賀まで県内全域に赴き、献血をお願いしている献血バス。企業や学校、公共施設など、お住まいの街で気軽に献血していただくことができます。今回は、金沢工業大学に献血バスが伺った際に、学生さんがレポートしてくれました。



学生レポーター：金沢工業大学の皆さん



実際に献血してみました

献血バスでの献血も、手順は献血ルームと同じです。



受付

最初は**受付**です。私たちの大学では、講義棟のエントランスの一角で受付してもらっています。



献血に関する説明を受けます

受付のスタッフの方から献血に関する説明を受け、同意したうえで献血を申し込みます。献血カードがあれば、申し込みもスムーズです。

受付した後は、タブレットで質問に答えます。献血する私たちの安全を守り、また、患者さんが安心して輸血を受けられるように、全部で23問の質問が表示されます。既往症や海外渡航歴など、内容は様々です。わからない点があれば、スタッフの方が説明してくれます。



タブレットで質問に答えます

受付が終わったら、献血カードが入った赤いファイルをもって、バスに向かいます。



献血バスを見学！

私たちの大学には、定期的に献血バスがやってきます。献血への学生の意識が高く、毎回たくさんの学生が献血バスで献血します。今回は、血液センター職員さんに教えてもらいながら、献血バスでの献血をご紹介します。



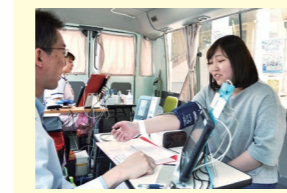
献血バスでは、全血献血ができます。献血だけでなく、献血前の検査もバスの中で受けることができます。

献血開始前に、バスの中を見学させていただきました。

バスの中は、4台のベッドがあり、2名の看護師さんが採血してくれます。ベッドは電動のリクライニング式になっていて、献血者に合わせて傾きを調整したり、採血する腕がどちらかによって頭の位置を変えたりできます。採血に必要な資材や機械類がコンパクトにまとめられていて、まるで小さな献血ルームのようです。

受付以外は全てバスの中でできるそうです。

せっかくなので、今回献血バスで献血してみました！



医師の問診と血圧測定

次に、**医師の問診と血圧測定**です。質問事項への回答に基づき、医師の問診を受け、血圧を測定してもらいます。

続いて、**ヘモグロビン濃度測定**です。看護師さんに2ccの血液を採血してもらい、機械で数値を測定してもらいます。初めて献血する方は、ここで血液型の判定もしてもらうことができます。

今回、健康状態も良く、献血基準も満たしていたので、医師から「献血できますよ。お願いします。」とってもらえました。



事前検査



一瞬でヘモグロビン濃度が判ります



いよいよ献血です！

献血バスに乗ったら、まず、献血中や献血後の安全のために、看護師さんから説明を受けます。



看護師さんから説明を受けます

採血している間に行う「LEG CROSS (レッグクロス) 運動」も教えてもらいました。足を交差し、つま先を伸ばすようにして、一定のリズムで両足を絞りこむように力を入れ、また緩めるといった動作を採血の間繰り返すことで、気分不良を予防する効果があるそうです。



LEG CROSS運動をしながら採血します



ジュースを飲みながら献血します

そしていよいよ採血です。水分や糖分を補うために、オレンジジュースやお菓子をいただきます。このオレンジジュースを飲むと、献血に来たなー、としみじみ思います。



初流血から検査用検体採取

献血の針を刺した直後に出てくる血液(=初流血※)は、検査用検体に使われるそうです。初流血を貯めるバッグから看護師さんが検査用検体採取していました。

※初流血(25mL)は、皮膚表面の消毒だけでは消毒しきれない、皮膚の毛穴(毛嚢)の中にある細菌が混入する恐れがあることから、輸血用に使用せず、輸血のための検査用血液等に活用しています。

採血している間、LEG CROSS運動を繰り返しながら、ゆったり過ごします。



患者さんからのメッセージ

天井には、輸血を受けた患者さんからの直筆のメッセージが掲示されています。自分の血液がこうして輸血が必要な患者さんのために役立っていることがわかって嬉しかったです。これからも献血を続けていこうと思いました。



最後に、**献血カード**を発行してもらって終了です。カードには次回献血可能日が記載されています。記念品の「けんけつちゃんハンドタオル」と水分補給用のジュースをもらいました。

ご当地けんけつちゃんのオリジナル記念品をもらいました！

献血バスを支えてくれるボランティア

献血バスは、私たちの大学の他、県内の学校や企業、公共施設などを巡回し、献血を募集しています。



金沢工業大学学生会の皆さん

献血バスによる献血の実施は、ライオンズクラブやロータリークラブの皆さん、地域奉仕団員の皆さん、企業の有志の皆さんなど、たくさんのボランティアが支えているそうです。私たちの大学でも、学生会 学生健康委員会が主体となって、献血実施の数日前から献血をPRしたり、実施当日も献血を呼びかけたりしています。



学内で献血を呼びかけ



患者さんからのメッセージが記載されたポケットティッシュ

血液センターのスタッフの方は、「様々な事情で献血ができなくても、献血を呼びかけてくださることも献血協力です。ひいては患者さんの治療を支えることにつながっています。輸血が必要な患者さんのために、ぜひ身の回りの方と、献血の必要性について話してみてください。」と話していました。

献血バスで献血しよう！

石川県には献血バスが4台あり、年間約360回も運行しているそうです。県内全ての市町に伺っているそうなので、住んでいる地域や学校、職場などの近くで献血バスを見かけたことがあるのではないのでしょうか。土日などは、ショッピングセンターで実施していることが多いので、お買い物やおでかけのついでに献血もできます。



石川県赤十字血液センター HP

運行スケジュールは、石川県赤十字血液センターHPや新聞、お住まいの地域の市町HPや広報誌などで確認できます。

献血基準など、献血に関する詳しい内容は、石川県赤十字血液センターHP (<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/ishikawa/>) をご覧ください。

皆さんも、ぜひ一度献血バスで献血してみてください！
(取材日：令和元年5月)

献血サポーター ご紹介コーナー

Vol. 26



北陸電力株式会社 七尾支店 様



能登地域において、低廉で良質なエネルギーを安定的にお届けすると共に、新たな価値・サービスを提供することで、地域の発展や豊かな暮らしの実現を目指しておられます。

献血には昭和42年から毎年ご協力いただいております。本年6月5日(水)にも献血を実施し、これまでに延べ62回、2,388名もの方にご協力いただきました。同じ市内にある七尾大田火力発電所 様にも、平成3年から毎年ご協力いただいております。

長年にわたる献血協力のご功績により、平成元年には石川県知事感謝状を、平成5年には厚生労働大臣感謝状をそれぞれ受賞されています。

当社では、社会貢献活動として、様々なボランティア活動のほか、献血活動にも積極的に協力させていただいております。
血液を必要とされる方々に少しでも多くお届けできるように、今後も協力を続けてさせていただきたいと思っております。

北陸電力株式会社七尾支店
総務担当 岡田 朋美 様

私たちは献血をサポートしています。



献血サポーター

「献血サポーター」とは 医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力していただける企業・団体の皆さまです。

お問い合わせ 石川県赤十字血液センター 献血推進課
TEL(076)254-6372 <http://www.ken-sapo.jp/>



ありがとうございました！永年献血

長きにわたり献血にご協力いただき、今般献血を卒業された皆さまをご紹介します



今までは、自分が健康であることが当たり前のことと思っておりましたが、献血ルームくらすつきで輸血を受けた患者さんの「皆さんの善意で助かった」との感謝と喜びのメッセージを見て、もし輸血を必要とする患者が自分の家族であったならどうだろうか？と考えさせられました。また、元気な体で産み、育ててくれた両親にも改めて感謝しました。健康な人なら誰にでもできる社会貢献活動です。

桂 優 様 (羽咋市)



1月25日をもって献血終了となりました。退職してから、ラプロ、ル・キューブでの成分献血によって献血回数が増えましたが、勤めていた時は献血ルームに寄ることは皆無で、職場などで年に数回、移動献血車による400ml献血をしていました。今の時代高齢者でも元気な人は多いし、人生100年とすればあと5年は献血できる期間を伸ばしても良いのではないかと。ルームのスタッフの皆様方にはお世話になりました。これからも輸血を必要としている方々の為にご尽力をお願いします。

佐野 治 様 (川北町)

予告 東海北陸ブロック統一 学生サマー献血キャンペーン

例年猛暑となる夏季には、血液が不足しがちです。そこで、東海北陸7県の学生献血推進ボランティアが力を合わせて献血をPRするキャンペーンを下記の日時に実施します。たくさんの皆さまのご協力をお願いします！



日時 8月18日(日) 10:00~16:00
会場 アピタ松任店(白山市幸明町280) / 献血ルームル・キューブ(金沢市袋町1-1 かなざわほこまち3F)

PRESENT

当日献血にご協力いただいた方には、東海北陸ブロック7県の学生献血推進ボランティアが選んだ「珪藻土コースター」をプレゼント!

家族で献血!

3月下旬に、献血ルームくらすつきに親子三代で献血していただきました。これまでも、よく3人一緒に献血されていましたが、おば様の松田 静香さんが献血を卒業されると、4月からお孫さんの山本 楓麻さんが新社会人として県外へ行かれることから、3人での献血は今回が最後でした。最終的に、3人合わせて111回の献血になりました。たくさんのご協力ありがとうございました。これからもご家族仲良く健康にお過ごしください!



山本めぐみさん
山本楓麻さん 松田静香さん

あとがき

いつも献血にご協力頂きありがとうございます。季節が変わり、今年も夏がやってまいりました!今年も例年通りの暑い夏になることが予想されています。外は暑いですが、献血ルームでは涼しい環境、冷たい飲み物をご用意しております。暑い季節、涼みがてら、献血にご協力頂ければ幸いです。血液センター一同、皆さまと夏を楽しめるよう準備してお待ちしております! (編集委員 O)

